

青森県

就労支援事業者機構

AES NEWS No. 26

令和7年1月発行（第26号）
NPO法人青森県就労支援事業者機構
青森市長島1-3-28
更生保護施設プラザあすなろ内
TEL 017(718)3184 FAX 017(718)3185



令和6年度全国就労支援事業者機構通常総会と意見交換会

5月31日（金）アルカディア市ヶ谷で全国の機構が参集し通常総会と意見交換会が開催されました。押切保護局長のご挨拶の後、令和5年度の事業報告や決算報告が審議され、滞りなく終了しました。続いて、意見交換会は

- ①協力雇用主に対する情報提供について。
- ②日本財団職親プロジェクトについて。
- ③保護観察対象者等の口座開設支援について。等が話し合われました。



岩手県機構と秋田県機構の方々がそれぞれご来訪

7月12日（金）に岩手県機構の事務局の佐々木様が、そして8月29日（木）に秋田県機構の伊藤会長と船山事務局長が来訪されました。情報交換等ができて大変有意義な時間でした。

秋田県就労支援事業者機構の伊藤会長（中央）と船山事務局長（左）
青森地区更生保護サポートセンターにて



岩手県就労支援事業者機構の佐々木様とねぶたの家ワ・ラッセにて

令和6年版 再犯防止推進白書(法務省) 令和6年12月発行



〈例えば〉 事例1 立ち直りは、常に塀の上を歩いているようなもの。日々自分自身との戦い
【30代男性】協力雇用主の下で就労し、現在は会社の中核として活躍
【支援者】協力雇用主

法務省 再犯防止推進白書 検索



第44回青森県更生保護大会 当機構会長表彰

10月24日(木) 六ヶ所村文化交流施設「スワニー」で顕彰式典が挙行されました。当機構会長表彰は六ヶ所村の株式会社北商物産代表取締役 赤石 薫様に授与されました。



当機構が協賛している
ホゴちゃん提灯



表彰した六ヶ所村の株式会社北商物産 代表取締役 赤石 薫様 (右)
当機構の鎌田常務理事 (左)

更生保護関係団体による更生保護事業運営のための明石市視察研修

報告者 理事 齋藤 史彦理事

11月7日(木)、本県各更生保護団体の関係者20名が兵庫県を訪ね、播磨社会復帰促進センターの見学と明石市保護司会と情報交換会を行いました。

見学した播磨社会復帰促進センターは平成19年4月の開庁以降、官民協働による運営がされている刑事施設です。開庁当初はPFI手法による官民協働の運営でしたが、令和4年4月からは公共サービス改革法を活用した官民協働による運営に切り替わり、部門毎に異なる民間事業者の活用がされています。



情報交換会で発表する当機構の高藤理事 (左)

収容定員は1,000名で日本国籍を持つ比較的軽微な罪を犯した初犯者が収容されている一般ユニット(定員:850名)の他、知的障害、発達障害等をもつ受刑者を収容する特化ユニット(定員:150名)が設けられていました。民間のノウハウを用いて行われる更生プログラムのほか、庁舎内にある受刑者が作った農作物を近くの幼稚園児等が収穫に来るなど、地域に開かれた運営がされている点にも興味を引かれました。

次に明石市保護司会との情報交換会では、明石市佐野副市長様のご臨席を賜り、ご挨拶を頂戴いたしました。また、伊原明石市保護司会会長様からは私たち全員に明石の鯛を模した手作りの箸置きを頂戴するなど、大変な歓迎をしていただきました。

情報交換では

- ① 社協との連携について
 - ② 兵庫県就労支援事業者機構について
 - ③ 青森県保護司会について
 - ④ 青森県就労支援事業者機構について、
 - ⑤ 青森県更生保護法人プラザあすなろについて
- それぞれ現状や課題などが報告され、質疑応答で終

了しました。

明石市では全国に先駆けて「明石市更生支援及び再犯防止条例」を制定し「つなぐ(関係機関との連携)」、「ささえる(支援の調整)」、「ひろげる(更生支援への理解)」の3つを柱に更生支援を展開してきました。本県においても同様の活動の一層の展開が必要と感じたところです。



情報交換会で発表する明石市副市長と明石市更生保護関係団体の皆さん

最後に明石市の更生保護関係団体のみなさまには、寒さの中、また翌日に更生保護大会を控えている中でお出迎えとお見送りなど、丁寧なご対応をいただきました。この場を借りて心より御礼申し上げます。



播磨社会復帰促進センターでの研修する当更生保護団体



播磨社会復帰促進センター全景 (パンフレットより)

